~東欧への旅~



ピアノ 鮫鳥明子

# 9/11**±**

14:00開演(13:30開場) 横浜市 長浜ホール

京急・能見台駅/シーサイドライン・幸浦駅 徒歩15分



ヴァイオリン

#### 第1部 (ピアノソロ)

シューマン (リスト編曲):『献呈』 バルトーク: 『ルーマニア民俗舞曲』

スクリャービン : 『左手のためのノクターン 作品9-2』

ショパン : 『バラード第3番』

#### 第2部 (ピアノ & ヴァイオリン)

プロコフィエフ : 『ヴァイオリン・ソナタ 第2番 作品94-a』

※プログラムの一部を変更する場合がございます。

#### 全席自由 2,000円 (50席限定) **Ticket**

チケットは長浜ホール窓口でご購入、または●電話●ファックス●メールでご予約いただけます。

※ファックス、メールでのお申し込みは、公演名、氏名、住所、電話番号、枚数をご記入ください。

045-782-7371 ●電話

●ファックス 045-782-7389

nagahama-hall@nagahama-hall.com ●メール

※客席へは13:30よりチケット番号順にご入場となります。 (予約または購入先着順)

※前売で完売した場合、当日券の販売はございません。 ※未就学のお子様の入場はご遠慮ください。

お問い合せ: 長浜ホール 横浜市金沢区長浜114-4 長浜野口記念公園内 http://www.nagahama-hall.com

京急・能見台駅より徒歩15分/シーサイドライン・幸浦駅より徒歩15分

主催:横浜市 長浜ホール (指定管理者:横浜メティアアト・相鉄企業・神奈川共立共同事業体)/(有)ななさわ音楽工房

## 第63回 みず色の風コンサート

#### ~東欧への旅~

#### ●鮫島明子/ピアノ

桐朋学園大学卒業。パリ・エコールノルマル音楽院コンサーティスト資格取得。1989年サン・ノン・ラ・ブルテッシュ国際コンクール第2位、同時に課題曲最優秀演奏賞受賞。地元横浜では主にリサイタル、室内楽、トークコンサートなどで活躍。後進の指導では幅広い年齢層において個々の身体技法・感覚・思考の繋がりを追求したトータルなレッスンを展開する。これまでにショパンとモーツァルトのCDをリリース。各音楽誌で特選盤、推薦盤として絶賛される。

#### ●七澤清貴/ヴァイオリン

東京藝術大学附属音楽高校、同藝術大学、パリ・エコールノルマルを全て首席で卒業。 多久興、海野義雄、ブローダス・アール、ルイ・グレラー、マックス・ロスタル、フォンタナローザの各氏に師事。スイスにてロスタルコンクール第1位。スイスビエール市立交響楽団で3年間コンサートマスターを務める。帰国後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団で20年間コンサートマスターを務める。主要オーケストラの客演コンサートマスターを歴任。複数のコンサートシリーズの企画、運営、演奏を全国で展開している。

#### 新型コロナウイルス感染症に関する対策とお願い

- ◇お客様同士の間隔を空けるため、座席数は50席での販売となります(通常104席)。
- ◇発熱(37.5°Cを目安)、または、風邪の症状がある場合は来館をご遠慮ください。
- ◇入館時に、手指消毒、または、石鹸による手洗いをお願いします。
- ◇客席・ロビー・ホワイエ等、館内では必ずマスクの着用をお願いします。
- ◇3 密を避ける対応が難しいため、ホワイエ・ロビーのソファーは使用できません。
- ◇大きな声での会話はご遠慮ください。
- ◇ホワイエ・廊下・トイレ等においても、お客様同士の間隔を十分に確保してください。
- ◇ゴミは、お持ち帰りください。
- ◇開場時・休憩時に扉を開け換気を行います。また、不特定多数の方の接触が予想される扉・ 手すりなどの表面の消毒を実施します。
- ◇チケットはご自身で半券を切り分け、所定の箱に入れてください。
- ◇プログラムや配布物がある場合は座席上に置かせていただきます。手渡しはいたしません。
- ◇出演者への花束・プレゼントおよび面会はご遠慮ください。

### 長浜ホール

#### ACCESS MAP



#### T236-0011

横浜市金沢区長浜114-4 長浜野口記念公園内

TEL: 045-782-7371 FAX: 045-782-7389

☐ nagahama-hall@nagahama-hall.com http://www.nagahama-hall.com/

- ●京浜急行「能見台駅」下車 徒歩15分
- ●金沢シーサイドライン「幸浦駅」下車 徒歩15分

#### ご存知でしたか?

長浜ホールに隣接して小さな白壁の建物があります。 これは、野口英世博士ゆかりの「旧細菌検査室」です。明治 28年(1895年)に長浜検疫所の建物群のひとつとして 建てられましたが、大正12年(1923年)の関東大震災で 倒壊、その翌年再建されたものです。

野口英世博士は明治32年(1899年)に検疫医官補としてこの地に勤務しました。当時博士の前には、長浜地区

の海辺風景がひろが っていました。

この建物は、当時の 細菌検査室の面影を 残しており、野口博士 ゆかりの研究施設と しては日本に現存する 唯一のものです。

